

ることのためであったこと理由を述べてあらう。
そしてそのために、吾等は無産階級による共同戦線が我
無産階級にとって必要であるかの根拠を探究し、而して右戦線が
無産階級政治闘争を小ブルジョア的階級闘争に導き、非無産
階級の政策に變換せしめようとしてゐるかを暴露するであらう。
而して、それ故に三階級排斥の問題が際に出された三階級のみの
問題ではなくて、無産階級にまつての階級問題であることを述
べるであらう。

全國的共同戦線黨を必要なら しむるところの我が無産階級 の社會的地位

大正七八年の階級闘争當時、我國資本主義の異常なる發展、未曾有
の好景氣時代に於ては、我國の無産階級は労働組合による個々の資
本家に對する労働條件の維持改善のみに闘争し、時には敗北する
こともあつたが、労働力を獲得することも出来た。
その後、即ち大敗後、資本主義經濟の國際的恐慌の波は（回復す
ることなき資本主義盛期に於ける永久的恐慌、我國にも波及し
此恐慌は全國的に擴大、益々深刻化して來た。

對する皆々な政治的壓迫、迫害は政治的階級の本質を無産階級の面
前に暴露せざるを得なかつた。
斯る經驗も闘争は無産階級の政治的意識を喚起した。即ち我國の
労働大衆は、その發展過程に於て、今やブルジョアの政治的支配に
對する無産階級のあらゆる努力を集中統一した闘争、政治的闘争の
必要を認識するに至つたのである。

當面の闘争目的

一般的標準賃銀の獲得、失業反對、非作戦、團結の確立、無産
階級運動を抑壓する一切の惡法の撤廢、言論集會結社の自由、普通
選挙の徹底等、總じては無産階級政治闘争の當面の目的は、帝
國主義時代に於ける封建的遺物に對する闘争、反動化しつゝある資
本家階級に對する闘争、即ち民主主義の獲得のための政治的闘争で
ある。

組織形態、共同戦線黨の必要

斯る無産階級の政治的闘争の當面の目的は、都市プロレタリア
と農村無産階級との、更に中間階級を併呑する政治的共同戦線に

その結果は、以前には時々勝利を得ること出来た労働攻撃が
（それすら物價の騰貴等によつて資本金上は相殺されてゐたのであ
るが）、賃銀低下、時間延長、組合の破壊等、資本家階級の攻撃
に對し、階級の擁護及獲得した時間と賃銀とを守るための戦ひに
一變した。

失業者の層出による失業問題、一般的標準賃銀の問題等は、次
から次へと吾等の前に擡起されてきた。
他方農村に於ける小作人運動に於ても、漸く従來の地主に對する
農民組合のみによる闘争は、既に一定の段階にまで到達した。
更に没落期に於ける資本家階級は、無産階級に對する飽なき經濟
的搾取と共に、無産階級運動に對しては最大の努力と細心の注意を
以て破滅しきたるに至つた。

斯くて無産階級は、労働組合、小作組合による奮戦にも堪らず
都會に於ては労働條件の總的低下、失業者の層出、失業不安、農
村に於いては、小作人及び自作農の窮乏を經驗しつつある。
而して斯くの如き情勢は必然に都市と農村とを連した階級闘争を
激化せしむると同時に、資本家及び地主に對する階級闘争が、ブル
ジョアの政治的權力の衝動を召致し、支配階級の無産階級運動に

よる闘争を必要とする。
斯くて全無産階級の共同戦線黨、全國的統一無産階級黨の成立
が、我無産階級運動の達した現段階に於ては必要なのであつた。

労働農民黨の誕生

第一次無産階級が制止されて後尙幾多の困難に遭遇しながら、然
も労働大衆の切實な要求と、努力によつて労働農民黨が組織される
に至つたのは、斯くの如き理由、社會的根拠に基いたものであ
つた。

其の任務

成立した労働農民黨——無産階級解放運動過程に於ける歴史的—
段階の特殊な使命を帯び生れた労働農民黨は、云ふまでもなく小ブル
ジョアの代議士階級であつてはならなかつた。然しそれは無産階
級階級でもなく、大衆的な組織をもつた黨にならなかつた。同
時に、無産階級の日常政治闘争を活潑に指導し、無産階級の政治意
識を喚起し、更に大衆的政治行動の訓練を與へることによつて、無産
階級の政治運動を發展せしめ、その特殊な使命を果すべく努めなけ